

2015-B					
拠出金・基金の 名称		経済協力開発機構化学委員会(化学品プロジェクト)			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】経済協力開発機構					
【所管官庁担当局課・室名】経済産業省製造産業局化学物質管理課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 ナノテクノロジーによって、次世代の成長産業の核として開発が行われているナノ材料は、その微小性のために従来の物質とは異なる挙動を示す可能性が指摘されている。ナノ材料の安全性に関しては、現在、我が国のみならず国際的にもその特性評価等の科学的な知見が不足しており、化学品プロジェクトの一環として、OECD化学委員会の工業ナノ材料作業部会において、加盟国の協力のもとに評価等の検討が進められている。我が国がイニシアティブをもって国際的にこの分野をリードしていくために、所要の拠出をOECDの同作業部会における事業に対し行うものである。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成27年度	22,519	161		1ユーロ = 140円	0
平成26年度	20,589	161		1ユーロ = 128円	0
平成25年度	16,942	158		1ユーロ = 107円	0
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 定期的に開催されるOECD工業ナノ材料作業部会では、ナノ材料に対する安全性評価等の検討が着実に実施されており、ナノ材料の試験方法のテストガイドライン化に向けた検討やナノ材料の特性評価等の科学的な知見・データの収集が行われている。例えば我が国がリードした炭素系3物質についての試験データ集(ドシエ)及びその要約が同部会の成果物として公表されており、これらの活動を我が国としても高く評価している。					